

# ○奈良県域水道一体化の経緯(主なもの)

年月	内容	ポイント
平成29年10月	奈良県・市町村長サミットにおいて、県が「県域水道一体化の目指す姿と方向性」発表	令和8年に経営統合 令和8年から10年以内に事業統合（料金統一）
平成30年4月	奈良県及び28市町村で、部局長級をメンバーとした「県域水道一体化検討会」立ち上げ	
平成30年8月	奈良県水道局から奈良市企業局に協力依頼	
平成31年1月	奈良県・市町村長サミットにおいて、検討の進捗状況を報告	
平成31年3月	奈良県が「新県域水道ビジョン」を策定	令和8年に経営統合 令和8年から10年以内に事業統合（料金統一）
令和2年2月	奈良県・市町村長サミットにおいて、検討の進捗状況を報告	
令和2年8月	第1回水道サミットにおいて、県域水道一体化の推進に向けて効果算定結果などをもとに協議	統合当初から事業統合（料金統一）を前提に議論
令和2年11月	第2回水道サミットにおいて、水道事業等の統合に関する覚書・基本方針について協議	
令和3年1月	水道事業の統合に関する覚書締結	令和7年度から事業統合（料金統一）
令和3年8月	奈良県知事と県内27市町村首長で組織した「奈良県広域水道企業団設立準備協議会」設立	
令和3年9月	奈良市から奈良県に対して、3つの「課題」提出	①全ての市町村が一体化メリットを受けること ②上下水道一体運営を継続すること ③下水道事業に対する県負担の拡充
	令和3年度中(出席／開催) 幹事会(2／3)、全体作業部会(2／3)、施設整備部会(6／6)、 財政運営部会(5／6)、業務共同化部会(3／4)、 組織・職員部会(8／8)、システム共同化部会(5／5)	幹事会（部局長級） 全体作業部会（課長級） 各専門部会（実務者）
令和4年2月	第2回「協議会」開催 奈良県が新シミュレーション発表	新シミュレーション算出根拠データの提供がない状況